

## 農地法第3条許可について

### 1. 審査の基準

第3条	判断の理由		
第2項第1号 (全部効率利用)	取得後の全ての農地を効率的に利用する	はい	いいえ
第2項第2号	譲受人は個人である（法人ではない）	はい	いいえ
第2項第3号	信託引受による権利取得ではない	はい	いいえ
第2項第4号 (農作業常時従事)	農作業を行う必要がある日数、農業に従事する	はい	いいえ
第2項第5号 (下限面積)	取得後の農地面積が50a以上である	はい	いいえ
	「いいえ」の場合 次のいずれかに該当する ①草花等の栽培でその経営が集約的に行われる ②農業委員会のあっせんによる交換で、相手方の面積が50a以上である ③隣接農地と一体利用しなければ利用困難な農地を隣接所有者が取得する	はい	いいえ
第2項第6号 (転貸禁止)	所有権以外の権限に基づく耕作農地（旧小作地等）の転貸・質入ではない	はい	いいえ
	「いいえ」の場合 次のいずれかに該当する ①賃借人の死亡等による一時貸付 ②賃借人からその世帯員への貸付 ③農地売買等事業による貸付 ④水田裏作の目的に利用するための貸付	はい	いいえ
第2項第7号 (地域調和)	地域との調和要件を満たしている	はい	いいえ

※すべての番号において「はい」にならない場合は、不許可相当となります。

2. 申請書の受付から、許可書の交付までおよそ30日以内となっています。

3. 今月の総会は、( )日開催です。  
許可書交付予定日は( )日です。